

2019年9月1日 中東時事アップデート

アミール・ツアルファティ

- イスラエル、ヒズボラと戦争状態 -

<https://youtu.be/dZmqmcyAVg>

今日、私に届いた、いくつかのメッセージをもって、このアップデートを始めます。

先ほども言ったように、私は毎日、「おはよう」「こんばんは」「おやすみ」メッセージを、多くのイスラエルを愛する人々から、“Fワード”や、“SOB”（侮辱的な言葉）、そのほか多くの言葉付きで頂きます。しかし、これは非常に興味深いです。ある人が、私に次のことを書いてきました。彼は、基本的に、このように書いています。

「インシャラー！我々は、平和に住むことはない。ヒズボラは、お前たちにとってさらに恐怖となるだろう。神のみこころによって、何千発ものロケットや偽装爆弾を、レバノン、パレスチナ、シリアにあるお前の植民地に向ける」

そして、この同じ男は、続けて私にこう書いています。

「ばい菌のイスラエル、お前は、私の唯一の目標であり、唯一のばい菌だ。私はそれで育った。お前は常にばい菌で、平和はお前を拒絶する。我々とお前との唯一の関係は、永久の戦争状態だ。いつか、我々は戦場で会うだろう」

興味深いのが、彼が書いた別のことで、彼は究極のことを私に書いてきたのです。よく聞いてください。私が、これでアップデートを始めることを選んだのは、これです。

「イランの国は、神がお望みなら、地図からイスラエルを取り除き、ヒトラーがユダヤ人にしたよりも、さらにひどいことを、お前たちに行う」

これは、私がちょうど数時間前に受け取ったメッセージです。このメッセージでアップデートを開始することを選択した理由は、これが問題の核心であるためです。イスラエルは土地に戻って、敵は不満です。私たちを破壊し、ヒトラーが終了しなかったことを継続するために捧げられている国があります。彼らがそう宣言しています。それが彼らの望むものであり、彼らは、そのためなら何でもします。

さて、そうは言いましたが、私たちは脳をリセットして、1979年2月1日、アヤトラ政権が生まれた日に戻りましょう。彼らは、地図からイスラエルを払拭、イスラエルを破壊し、我々の主権を終わらせる、彼らの計画と、彼らの望みを隠しませんでした。さて、これはずっと続く可能性がありました。しかし、イランはまた別の場所で、長い腕を伸ばし始めました。イラク、シリア、レバノン、パレスチナ地域、イエメンでさえです。イランは、基本的に私が先ほど述べたこれらの国々を、彼らの軍隊をより正確に進められる場所として使っています。そして、彼らの高精度な武器、ナビゲーション付きロケットを、できるだけ近くに持ち込み、命令の日、指揮の時、彼らはイスラエルに向けて数千発のロケット弾を同時に発射して、それによって、イスラエルの完全な破壊を引き起こす。それがイランの目的です。ずっと長い間、最も近いイランの代理は、もちろんヒズボラで、レバノンと我々との国境にいます。彼らは、シリアから私たちの領土に多くの軍隊を進めるために、シリアのすべての混乱を試しました。彼らは、ガザのイスラム聖戦派とハマスを武装しています。彼らはまた、イエメンのフーシ派を、イスラエルでさえ命中することのできる長距離ミサイルで武装しています。彼らは、私たちを取り囲みたいのです。彼らは、私たちからかなり遠く離れています。

彼らは、私たちから数千キロメートルも離れていて、大きなイラク、シリア、レバノン、ヨルダンが、私たちとイランの間にあります。したがって、彼らは、より多くのロケットをどんどん進める必要があるのです。ヒズボラは現在、約12万個のロケットを貯蔵しています。しかし、これらのロケットは、爆発物がいっぱい詰まった、ただの金属爆弾です。高い確率で命中させることはできません。そのため最近、イランはナビゲーション付きスマート誘導ミサイルをシリアに密輸して、それをレバノンに届けようとしています。そしてイスラエルが、毎週、彼らの船団と倉庫を攻撃すると、彼らは実際に、それらのロケット製造をレバノンに移すことにしました。言い換えれば、ただのロケットをスマートロケットに変換するのです。

さて、なぜ私はこの全てを伝えるのか？それは、先週の週末に、驚くべき事が起こったからです。イスラエルが、イラクでイランの標的を60日間で5度目に攻撃した後、イランは“甘い復讐”をしようと決めました。彼らは2人のレバノン人を使って、この2人を、「キラー・ドローン」と呼ばれるものを飛ばす訓練に送り込みました。そして、基本的に彼らは、彼らをシリアのアクラバという村に送ったのです。そこから彼らは、そのキラー・ドローンを打ち上げる予定でした。キラー・ドローンとは？それは、大規模な爆発装置が取り付けられた小さなドローンです。それはレーダーにかからず、イスラエルのターゲットに到達し、もちろん爆発しなければなりません。イスラエルのモサド（諜報機関）は、すでにこの2人のレバノン人の飛行を検出していました。それと、この2人のレバノン人の帰路の飛行機、彼らの行動と訓練のすべて、私たちはずっと、彼らに目を向けていました。私たちは、彼らの写真も名前も、すべてを持っていました。彼らが到着して、ミッションのための“ゴーサイン”が与えられたとき、あれは木曜日の夜、ちょうど、イスラエルが再びイラクを攻撃した数日後でした。もちろん、イラクにおけるイランの標的ですが、何が起こったのかというと、イスラエルの電子戦(EW)が、ナビゲーションシステムを混乱させることに成功。そして、それらのドローンは、飛行ができませんでした。それから何が起こったのかというと、彼らはこの障害を克服できるかどうかを確認するために、数日待ち、そして、土曜日に彼らはもう一度それを行い、再び、それを打ち上げることにしました。イスラエルは、これは攻撃に適切なときであると決意して、戦闘機を送り、標的、すなわちドローンとオペレーターをその場で破壊しました。次に何があったのかというと、ヒズボラは、我々が彼らの国民を2人殺したと主張。しかし、我々はヒズボラとは戦っていません。我々は、ガーセム・ソレイマーニー将軍が指揮する、アル＝クッズ軍と戦ったのです。彼はイラン革命防衛隊の一員で、イラン国外のすべての作戦を担当しています。そして彼は、レバノン人を使うことを選んだのです。なぜなら、イランがシーア派を選んでいるからです。常に、地域全体から、彼らはアフガニスタン人を使い、イラク人を使い、レバノン人を使います。これらは、ただの大砲のための「肉」です。彼らはイラン人の血を無駄にしたくない、彼らは本当に自分たちが死にたくなくて、他人を殺したいのです。しかしイスラエルが、現場でそれらの作業者を殺した後、2時間後に何が起こったのかというと…、次に起こったことが、なかなか特記すべき事で、私はそれについての本を書くことができますよ。実際に。その後、数時間で何が起こったのかというと、イスラエル/ヒズボラ戦争の新しい時代が始まりました。それは、「欺瞞の時代」と呼ばれています。これ以上、何かを明確にすることはせず、すべてを曖昧に保ち、すべてを敵に推測させる時代です。何があったのか、見てください。

イスラエルは、イランのドローンがどのように見えるのかを調べました。実際に私たちは、イランのドローンをいくつか入手しました。我々はこれらのドローンを取り、地中海を航海して、イランのドローン2機に爆発物をつけて送り込みました。地中海からまっすぐバイルート、ヒズボラの本部、彼らの庭まで。そして、最初のドローンが爆発し、もうひとつは、実際にその隣に着陸しました。おそらく、皆さんは思っているでしょう。「そのドローンは、何を探していたんだ？」それらは、人を探していたのではなく、装置を探していたのです。皆さん、イランのドローンが、イランの代理を攻撃するために使われただけではなく…、やっとならヒズボラは、イランからロケットを精巧ロケットに変換するための最も重要な装置を受け取ったのです。これらの装置の1つは、ミキサーです。これは、いくつかの金属を混ぜるもので、特定の配置で、特定の混合物を作製して、ロケットが、レーザー、ナビゲーションによって誘導されて飛ぶことを可能にします。もうひとつは、制御のための電子機器でした。これらの2つの機器は、わずか数時間だけ、外に放置されました。そして、イスラエルは、場所、時間を探知して、イランのドローンを使用、それらを破壊したのです。私たちは基本的に、ロケットをスマートロケットに変換しようとする、イランのヒズボラの計画を大きく挫

折させました。これは驚くべき事です。そして起こったのは、ヒズボラのトップが…、彼は激怒して、テレビの生放送で発言。「イスラエルは、この報いを受ける！イスラエルが攻撃している。イスラエルは攻撃的だ！」彼は、ちょうど自分がイスラエルに敵対して、策略を練っていたことを世界に伝えるのを忘れていました。そしてイスラエルは、ただ、彼の策略、イスラエルを破壊する計画を妨害したのです。さて、その瞬間から、ヒズボラがどれほど屈辱を受けたか、想像ができるでしょう。彼の家で攻撃されたのです。裏庭で。イランのドローンによって、イランの機器が爆破、破壊されたのです。これ以上の恥はありません。そして、来週あたりに、彼らは復讐を誓い、報復することを誓うとヒズボラは全世界に言っています。次は、彼らがイスラエルを攻撃する番だ、と。

まず第一に、我々は何も言いませんでした。私たちは沈黙を保ちました。しかしイスラエルは同時に、何らかの報復のためのヒズボラの準備状況を探知しました。ヒズボラは今、大きな問題に悩まされています。レバノン経済はうまくいっておらず、レバノンの人々は、第2次レバノン戦争の時代に戻ることを望んでいません。第1次ですら、望んでいませんでした。ヒズボラは、イランの代理人かもしれませんが、実際にはレバノン人です。そして、彼らは自分の国を破壊したくないのです。2006年の第2次レバノン戦争の後で、それは望みません。ヒズボラは、彼らが報復しなければならないことを理解しています。しかし、彼らは状況をエスカレートしたくありません。イスラエル諜報の偵察機は、ヒズボラの工作員のグループを探知しました。彼らは、「コルネット」と呼ばれるロシア製の対戦車ロケットをイスラエルの車に向けて発射準備をして、我々の国境に向けて前進していました。我々は、彼らが復讐をしたいのなら、彼らに復讐させることを決めました。と言うことで、そこから今日につながります。

「我々は、あれを行い、これを行う」という、一週間にわたって語り、威嚇、吠えた後、今日の午後4時05分、ロシアの対戦車ロケット2発が、ヒズボラの工作員により、イスラエルの軍用救急車、軍用車両にむけて発車されました。何があったかを見てください。イスラエルは明らかに彼らの計画を知っていました。車両は実際には無人で、そして…、よく聞いてください。車両が炎上しているときに、イスラエルは、その事件については何も言わなかった。少なくとも、死傷者数や死亡者の有無などについては、何も言わず、ただ、我々はヘリコプターを2機送りました。そのヘリコプターは着陸して、兵士、負傷した兵士、出血した兵士たちが積み込まれました。ここ、最後まで聞いてください。彼らは、ヘリコプターに乗せられました。ヘリコプターは、はるかハイファ病院まで飛んで、そこでこれらの兵士たちはヘリコプターを降りて、まっすぐに救急室に入りました。そして、すごく面白いことに、2分後、負傷した兵士たちが裏口から出て来たのです。裏口から、歩いて。なぜなら、彼らは怪我を偽装していたのです。イスラエルは、ヒズボラの反応を見るために、それらの怪我を偽装しました。ヒズボラがただちに言ったのは、「我々はイスラエルの兵士を殺した。我々は4人のイスラエル兵を痛めつけた。我々は、やりたいことをやっただけではなく、今、我々はイスラエルの裁判所に判断を任せる。彼らがエスカレートしたいなら…、我々はエスカレーションを望んでいない」ですから我々は、彼らに、自分たちが人を負傷させて、殺したと思わせたのです。私たちは怪我を偽装し、避難を偽装し、全部偽装しました。そして煙が消えて塵がおさまったときに、彼らは言いました。「我々は全力を尽くし、神に感謝する！」我々は、彼らに言いました。「おまえたちは愚か者だ。だれも負傷していないのだ。おまえたちは愚か者だ。本当に何も起こっていないというのに。あれは空っぽの車両であり、我々の兵士たちは、だれもかすり傷1つ負ってはいない。何も起こってはいない」そして、これがとても面白くて、今、彼らはどうしてよいのか分からないのです。そして、最後の放送でヒズボラは言いました。「まあ、我々はイスラエルの兵士を見ていて、彼らがエチオピア人の兵士であることが分かったとき、我々は攻撃しないことに決めたのだ」冗談でしょ？あなたがたは対戦車ロケット弾を撃ったばかりで、それもあなたがたは、イスラエルの兵士に向けたのです。それが今、あなたはエチオピア人の守護者になろうとも言うのですか？冗談でしょ？

さて、これは彼らにとって恥ずかしさを越えています。今、彼らは何もしなかったとは言えません。しかし、彼らが何もしなかったので、いま、全世界が彼らを笑っています。だから、イスラエルはいま、権利を握っています。彼らが言ったように、判断は私たちの裁判所に戻っているので。基本的に、私たちは彼らに対して「欺瞞の芸術」を使用しました。この欺瞞の芸術は、ずっと長年、イスラム教徒によって使用されてきま

した。これは彼らの手口の一部です。これは彼らが物事を行う方法の一部です。イスラエルは、通常、単直です。我々は撃つときには撃ち、負傷するときには負傷しますし、死者がいるときは、私たちはそのことを伝えます。私たちは駆け引きをしません。しかしこの場合、私たちは駆け引きをしました。この場合、私たちは偽装をしました。この場合、私たちは彼らを欺きました。ですから私たちは、イランのドローンを使って、イラン代理の中心にある、イランの装備を攻撃しました。そして彼らが報復しなければならないと思ったとき、私たちは怪我を偽装して、避難を偽装しました。そして、彼らは大喜びしていたのが、今、ものすごく恥をかいています。さて、これで、私がこの全てを伝えるのを、とても楽しみにしていた理由が分かりましたね。今は午前1時30分ですが、それでもこれは驚くべき事です。

さて、なぜ私は皆さんに、この全てを伝えるのか？これは、この全体の中で最大の敗者はイランであり、ヒズボラではないからです。ヒズボラは傷をなめ、地元に戻ればレバノンで問題を抱えています。そして、だれもが考えているのです。イスラエルとレバノンの間で戦争が起こる！いいえ、現在、レバノンはイスラエルとの戦争は許されません。また、イランもこの時点では、レバノンを使用して戦争することはできません。イランは、今、さらに激怒しています。イランは、イスラエルを攻撃する瞬間を心待ちにしています。彼らは、自分たちが弱いと理解しています。彼らは、自分たちが欺かれていることを理解しています。彼らは、私たちが彼らよりも、ずっと有利であることを理解しています。ですから私は、イランの復讐はイラン単独の時には来ないと信じています。イランの復讐は、彼らがイスラエルに攻め込むこの連合に加わったときに起こると信じています。彼らは言うでしょう。「今こそ、何千発ものロケット弾の雨を降らせるときだ！」預言者エゼキエルは、イスラエルへの攻撃が北から来る黒い雲のようだ、と語っています。ですから、私はただ、驚くべき事が起こったことを、お伝えしています。

イスラエルは…、つまり私たちは、もはやヒズボラに触れることを恐れる側にはありません。過去13年間、2006年以来、私たちはレバノンにあるものは、何も触れませんでした。13年後、彼らは一切触れられない、だれも彼らには何もできないことを確信して、彼らはただ、彼らの邪悪な計画を続け、なんとか私たちが滅ぼそうと、策略を練ることができました。イスラエルは、私たちの諜報が非常に精巧で、正確、非常に現実的であり、いま、彼らは手がかりさえ持っていないことを示しました。それだけではなく、ここ数日の間にイスラエルは、ビデオを公開しました。私は、私たちのFacebookのページに、それを載せたと思います。我々は、ヒズボラが活動するレバノン国内の、イランの将軍の名前を記載した動画を公開しました。そして私たちは、彼らが何をし、どこに行き、いつ、どのようにしているのかを、正確に知っています。それに対して、彼らは怒り狂っています。それは、彼らの最も秘密のサークルが破られたことを意味しますから。これらすべてのことを、我々がどう知ったかは言いませんが、明らかに、人間を媒介とした諜報が答えです。しかし、正確にだれがどこにいて、彼は、それをどのようにやったのか？それは、皆さんの知るべきことではありません。皆さんが知るべき事は、私たちが彼らに対して、彼らの戦術を使った、驚くべきディスプレイを見ているということです。そして、それは欺瞞と呼ばれています。これが今日起こった、素晴らしい事でした。戦争が勃発しているように聞こえるのも分かっています。正直に言うと、私が与えたタイトル「ヒズボラとイスラエルの戦争」が、おそらく、そこへ導くでしょう。しかし、我々はずっと長年、彼らと戦争関係にあります。そして、今日はその戦争で、重要で興味深い章でした。ですから、皆さんのお祈りに感謝します。ネタニヤフ首相は、とても喜んでいます。今日、ホンジュラスの大統領と一緒に、彼らはエルサレムで外交的な存在をオープンにしたからです。ホンジュラスは、基本的に、イスラエルの首都としてエルサレムを認めました。今日、エチオピアの首相がここにいる、イスラエルとの関係を強化しました。多くの人々は、聖書のエゼキエルに出てくるクシュは、エチオピアであると考えています。皆さんの英語の訳のいくつかは、エチオピアについて、そう告げていますが、現実には、クシュはスーダンです。イスラエルのエチオピアとの関係は、これまで以上に良好です。実際、エチオピア系のイスラエル人である地元の信者から私が聞いたのは、エチオピアの大統領は、実際に信者だそうです。これは、私が聞いたことです。だから、基本的に、とても驚きなのは、シリアは戦場ではありますが、しかし実際は、トルコ、ロシア、イラン、スーダン、リビアが、アメリカが崩壊し、ヨーロッパが眠り、中国とアメリカが継続して貿易戦争をするのを心待ちにしているのです。そうなれば、彼らは彼らの穴から出て来て、攻撃することができますから。かなり興味深いです。ということで、これは良いアップデートになると思いました。皆さんが、本当に今、中東で起

こっていることの絵を理解するために。数時間前に聞こえた戦争が、実際に欺瞞の傑作として終わりました。ヒズボラは屈辱を受け、敗北しました。次になにが起きるかは、また分かります。この全てにだまされたり、誤解しないでください。イスラエルは最終的に攻撃されます。そして、これにだまされたり、誤解しないでください。イスラエルは、必死に神の助けを必要とします。イスラエルは、自身で攻撃を停止することはできませんから。イスラエルの友人は、だれもイスラエルを助けることはできません。だから私はここで自慢しているのではなく、神がイスラエルを支えられるのは、驚くべき事だと言っているのです。私たちは、このアップデートの始まりに、イスラエルの破壊を願い、ヒトラーがやり遂げなかったことをイランが行い、成功するのを願う、アラブ人の話をしました。それがすべてです。私たちがここにいるのは、こう仰る神のやり方です。「これは、わたしの国であり、彼らを生き返らせることは、あなたがた教会に、わたしが来て、あなたを取り去ろうとしていることをあなたがたに知らせるための、最大の兆候だ。また、これは、わたしが神であることを国々が知るためのしるしでもある」だから、神の真実さ、神の主権、神の保護、契約を守られる神の驚くべき性質の現れを、私たちは見ていると思います。敵は不満で、敵は策略を練ってきます。しかし、それは信者の人生です。敵は常に吠えたける獅子のように、食い尽くすべき人を探してウロウロしています。そして私たちは、信者としても、神の約束に頼る必要があります。だから、現在起こっていることと、そのすべてに対する聖書の文脈を、皆さんが理解することは、非常に重要だと思いました。それからたぶん、ちょっとうれしく、ワクワクしていて、さらには欺きが振り向いて、欺きの主に噛みつくのを見て、楽しんでさえいます。皆さん、お分かりでしょう。ということで、皆さん、以上です。

正直なところ、もうすぐ午前2時、1時56分です。私は本当に眠りたいので、このアップデートを、今、終了します。ご覧頂きありがとうございます。私たちのためにお祈りください。私たちには、お祈りが必要です。ところで、皆さんがご存じかどうか、皆さんがお気づきかどうか分かりませんが、より多くの組織、ブラザー・ユニバーシティや、キャンディス・オーウェンスなどが、Facebookが彼らを検閲していると言っています。保守的なコンテンツがブロックされています。私が数週間前のアップデートで言ったことを、覚えていますか？フェイスブック、ユーチューブ、ツイッター、インスタグラムでの私たちの日数は限られています。ですから、私は皆さんに促します…いいですか？私は、その日以降に備えなければなりません。私は、皆さんのことも、その日以降に備えなければなりません。私たちのニュースレターやウェブサイトを通して、私たちとつながっててください。私たちのウェブサイト、BeholdIsrael.orgから、ニュースレターを登録してください。毎週、すべてのニュースの要約が届きます。実際に、私たちは必要に応じてメールやテキストメッセージを送ることができます。アプリBehold Israelもダウンロードすることができます。私たちとつながっててください。そうすれば、ソーシャルメディアが完全に私たちを消してしまう日が来ても、あなたはまだ、私たちと連絡を取ることができますから。そして、私たちも、あなたと連絡を取ることができるようになります。私たちのアプリ、ウェブサイト、ニュースレターなど、私たちの独立したコミュニケーション手段を経て。ですから、どうか私たちのウェブサイトBeholdIsrael.orgを訪れて、ニュースレターを登録してください。そうすれば、あなたは私たちとつながっていられます。必ずしもソーシャルメディアを通じてだけではありません。私たちは、ソーシャルメディアも、有効期限が切れるまで利用します。私たちがそこらになくなるまで、私たちがそこから消されるまで、私たちがそこから追放されるまで、私たちは可能な限り、それを利用します。私たちは、できる限りそれを活用します。我々は、できるだけ多くそれを使用します。しかし、その瞬間が来て、それが消えたとき私たちは、皆さんとの連絡を継続する方法を知っています。もし、あなたがニュースレターを登録して、私たちにそうすることを許可するならば。

皆さん、ありがとうございます。すべてに感謝します。

God bless you !

I love you !

私は、これから眠ります。しかし、アロンの祝福で皆さんを祝福するまで、私は眠りません。

主があなたを祝福し、あなたを守られますように。
主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。
主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。
(民数記6章24節から26節/ヘブル語)

主があなたを祝福し、あなたを守られますように。
主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。
主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。
(民数記6章24節から26節/英語)

平和の君だけが与えられる平和が、今より永遠に、ここ、そして、どこでも与えられますように。

平和の君、彼の御名はイエシュア。イエス、私たちの救い。

主の御名によって祈ります。

アーメン。

ありがとうございます。

God bless you !

私はもう寝ます。とても疲れています。

I love you !

来週、うまくいけば、またお会いしましょう。

さようなら。



メッセージ by Amir Tsarfati / Behold Israel :<http://beholdisrael.org/>

ビホールドイスラエル 日本語 YouTube チャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UCLcuvC6Mr63AqwiiXDkwRVQ>

2019.09.06 (Fri)